

平成21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472700523	事業の開始年月日	平成17年12月1日	
		指定年月日		
法人名	株式会社 スマイル			
事業所名	スマイル住まいる三浦			
所在地	(238-0111) 三浦市初声町下宮田601-7			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成22年1月31日	評価結果 市町村受理日	平成22年7月7日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1472700523&SCD=320>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご家族を含めたお客様との交流を大切にしています。外出を出来るだけ取り入れ四季を感じていただきながら日々の生活を送っていただけるようスタッフ一同お手伝いさせていただきます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成22年2月11日	評価機関 評価決定日	平成22年5月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

法人全体の共通ロゴは「SMILE(笑顔)」です。ホームの名前でもあるこのスマイルを大切に、毎日朝礼では理念を唱和し、利用者を「お客様」と呼んでいます。利用者それぞれの「その人らしさ」を大事にして、丁寧な言葉遣いで対応し、理念の実現、ケアの向上を目指しています。グループホームは建物の2階・3階ですが、1階は同一法人のデイサービスのフロアとなっています。ボランティアの行事等にグループホームの利用者が参加することもあり、機能的に関わっています。自然を多く残す環境で、新興住宅街「ルナタウン三浦」の中で地域の福祉サービスの一端を担っています。三浦は食の宝庫、地場の食材を利用した食事は利用者の楽しみごとの一つにもなっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	スマイル住まいる三浦
ユニット名	うみう

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念の他、ホームの理念を掲げ実践していける様朝礼で唱和しています。	法人の共通ロゴは「SMILE(笑顔)」です。毎朝朝礼で「お客様の気持ちを大切に・・・」と理念を唱和し、フロアにも掲示しています。利用者を「お客様」と呼ぶことを全職員が徹底しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	体験学習の中学生地域のボランティアとの交流を定期的に行っています。また散歩の際には地域の方と挨拶が出来るような関係もあります。	町内会には未加入ですが、近隣の夏祭りに招待されたり、ホームのバーベキューに招いたりしています。また中学生の体験学習の受け入れを行ったり、併設のデイサービス利用者とも日常的に交流があります。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は開催が少なくなりましたが取り組みの状況報告や話し合いを持っています。またその結果をサービス向上にむけ努めています。	20年度は4回開催しましたが、21年度は核となる家族の参加が少なく1回にとどまりました。救急法、接遇マナー、外出時の家族の協力など話し合っています。	年6回の開催と地域住民である民生委員や行政の参加を積極的に呼びかけての開催が期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村からのアンケート等に協力、報告しています。また担当の方には入居時、入居後の生活について相談させて頂き指導いただいています。	入居・退去者の相談と生保関係が主で月1回は担当と話し合っています。生保受給者が少なく相談案件が少ないのが現状です。グループホーム連絡会には月1回は参加し情報交換しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中玄関に施錠することは無く身体拘束のないケアにスタッフ一丸となり取り組んでいます。	利用者の権利として、身体拘束は受けない、と契約書に記してあり、虐待や暴力はありません。職員間には強固な思いが共通してあります。言葉かけも「です」「ます」という丁寧な言葉で統一し、どこも施錠していません。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	肉体的虐待は勿論、精神的虐待にも常に心がけ話し合いの場を設ける等徹底に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修やスタッフ間の話し合いの場で学ぶ機会が出来るよう心がけています。また制度を活用されているご家族と協力体制をもち活用できるよう支援しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行いお客様がやご家族が安心してご入居していただける様説明させていただいています。相談にも随時対応させていただいています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様へは来所時や電話にて状況をお伝えすると共にご意見・ご要望を頂き運営に反映できるよう努めています。	関連法人で意見箱の代わりに電話による相談、カウンセリングを年中無休で受付、メールアドレスも公開しています。家族から直接口頭で希望や意見を聞いて職員会議で検討して、運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや様々な話し合いの場を設け意見を集め反映させています。	毎月の会議の中、職員からの意見を聞く時間を特別に設け、意見を自由に言える体制を作っています。提案された案をケアで試行して、良ければ職員会議の同意を得て実施されます。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は勤務状況を把握し全職員が勤務形態にかかわらず高い意識や向上心を持てるような環境作りに努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修情報を回覧し研修の機会を設けています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム協議会に所属しており活動の内容を通じてサービスの質の向上に努めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	必要に応じて連絡・訪問をさせていただいています。お客様のご要望に対し、安心してご利用していただけるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族所不安や要望に耳を傾け、スタッフ間で介護計画について話し合いより良い関係作りに努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お客様本人・ご家族の意見を踏まえ初期段階でお客様に必要な支援を見極め、他サービスも含めた支援を検討していきます。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様本人の意見・行動を中心に良い関係を築きながら支援させていただきます。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お客様の日常の生活を記録を含め詳細に報告し、ご意見やご協力を頂きながら一丸となってお客様の生活を支えて行けるよう努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日常生活の中で想いで話しに耳を傾けたり、ご友人の電話や来所を進める等心がけています。また行ける範囲であればご希望される場所への外出も行っています。	これまでの知人、友人関係を継続できるように電話や手紙を取りもつ等支援しています。中にはインターネットを利用した電話で海外の家族と会話を楽しんでいる利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の体操・レク・散歩等お客様全員が楽しむことが出来る場を作り利用者同士の交流も出来るよう努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も可能であればご本人・ご家族との関係を継続させていただき相談・支援をさせていただきたいと考えています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お客様の思いや希望を傾聴しその事柄が満たされることが出来るようお客様の気持ちになって検討していきます。	日々、利用者への声かけを大切にし、言葉や表情からも気持ちをくみ取るように職員は努力しています。困難な時には家族から情報を得て、利用者の視点に立って対応しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族から今までの生活歴や暮らし方、生活環境を伺い、把握しその後の支援に活かせるよう努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタルチェックは欠かさず行っています。お客様の様子の変化に随時気づくことが出来るよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族は勿論のこと必要に応じ医療関係者、他関係者の意見を参考に話し合い介護計画を作成しています。	利用者がよりよく生活するために、本人、関係者が意見を出し合ってサービス計画書を作成しています。日々チェックを怠らず、モニタリングし、ケア会議を開き、現状に即してプランを見直しています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきを記録し気がついた点は情報を共有し速やかにケアや介護計画の見直しに活かすよう努めています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お客様ご本人やご家族様のニーズに柔軟に対応し、その方向にあわせた支援やサービスに取り組めるよう努めています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	三浦市の文化機関や施設を必要性に応じてお客様の意見を尊重させていただきながら協力・支援させていただいています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	お客様の健康状態を前もって報告し適切な診療が受けられるようにしています。医療機関とも常時連絡の取り合うことの出来る関係を築いています。ご家族への相談・報告も適時行っています。	月に2回、定期的な医師の往診体制が整っています。現状、協力医がかかりつけ医となっています。希望があれば今までのかかりつけ医や希望の医療機関での受診も可能です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>往診時や日常の連絡からより良い関係を築いており常時連絡・相談が行えています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には早期退院ができる様、介護サマリ等を中心に情報提供を行っています。またその後の経過においても病院関係者と綿密な話し合いを持てるようにしています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合には今後の医療や生活の意向を相談させていただいています。その中で最善の方法考えられる方向へ関係者と共に向かえるよう取り組んでいます。</p>	<p>同一法人の他のホームでは既に看取りの例があります。本人、家族等の意向を踏まえながら方針を統一共有し、医療との連携の体制を整えるべく準備を進めているところです。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全職員が急変時に対応できる様話し合いの場を設ける等しています。初期対応等含めお客様の心身状態を把握し常に起こりうる事柄を考え備えています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難・防災訓練を実施しています。また災害時の対応について話し合いの場を設け全職員が適切な行動できるよう努めています。</p>	<p>利用者全員の参加でエレベーターを使わない避難訓練を実施しています。近々、消防署の協力を得た消火訓練も実施するよう計画しています。</p>	<p>災害、非常時に備えての食料や備品の準備が期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の人格を尊重し、敬う気持ち大切にされた言葉使いを会社の誓いとして掲げ取り組んでいます。	利用者を敬う気持ちを持って職員は接するよう言葉掛け等にも細心の注意を払っています。個人記録は鍵のかかる書庫に保管され、パソコン情報も厳重に管理し、職員のUSBメモリの使用は禁止されています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の行動を職員が決めてしまう事の無い様、傾聴し自己決定を中心とした生活が送れるよう支援していきます。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必ずしもご希望に添えない場合もありますが基本的にご希望に添える体制作りに努め支援させていただいています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の希望・意向を大切にしていますが判断が難しい場合にはお客様のご意見を踏まえながら支援させていただいています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食希望に添うことは難しいですが、ご意見を頂いたり一緒に食材の買出しへ言っていただきメニューを決定する等食という大きな楽しみの時間を大切にしています。	給食業者の福祉メニューと自由食の両方をバランスよく採用しています。利用者にメニューの希望を聞き、職員と一緒に買い物に出かけることもあります。三浦の名物のマグロを丼にしたり、行事の折に外食を楽しむこともあります。職員と一緒にテーブルを囲み、和やかな雰囲気の中で食事が楽しみごとの1つとなっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量について失礼のない範囲で管理させていただいています。お客様の体調・必要量を的確に判断できるよう努め体調管理努めています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ご本人の能力・口腔状態に合わせた支援をさせていただいています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつの使用についてはお客様のブライド等にも気を配りながら慎重に行っています。ですがトイレでの排泄支援が難しいと判断させていただいた場合には使用している状況もあります。	一人ひとりの排泄パターンを把握して、できるだけオムツ等を使わない方向で支援しています。上手に声かけし、利用者のサインを見逃さないようにさりげなくトイレ誘導しています。トイレも各フロアに3ヶ所ずつあり、食堂に近いトイレは車椅子対応の広い造りとなっています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に対し薬だけに頼ることの無い様、体操や日常の食事に気をつけています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	お客様の希望に添えるタイミングでの入浴実施に努めていますが体調や入浴間隔に他お客様入浴状況によってはお客様の負担にならない範囲で調整させていただいています。	入浴日を限定することなく、浴室はいつでも使える状態になっています。中には職員の見守りだけで、一人で入浴できる利用者もいます。建物の1階にはデイサービスのリフト付きの檜風呂もあり、こちらも利用可能です。入浴嫌いの方も決まった職員が入浴支援する等工夫しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様一人ひとりの状況を把握し適切な休息をお客様の意見を尊重させていただきながら支援させていただいています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についてスタッフ全員が処方内容に目を通し把握し常にスタッフ間で話し合い医療機関への相談を行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	過去の生活歴やおきゃ様のお話から嗜好品、楽しみを見つけ日常生活を楽しんでいただけるよう支援させていただいています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	希望に添えるよう散歩・買い物等に出かけることが出来る環境整備を心がけているがお話させていただいた上で調整していただいていることもあります。	散歩は日課となって習慣化されており、多くの利用者が参加しています。歩行の難しい方も車椅子で出かけています。晴れた日には芝を敷いた屋上から三浦半島や山並みを望むことも出来ます。近くには桜並木が続き、散歩の途中でのお花見も楽しみとなっています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人・ご家族了解の上でお金を所持していただいています。管理が難しいお客様についてはお預かりさせていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用や手紙のやり取りは自由であり、交流についても支援を行っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お客様が落ち着いて過ごしていただける環境作りを心がけています。又季節行事に伴った展示物・掲示物を取り入れ楽しんでいただけるよう配慮しています。	食堂、キッチン、リビングは一体化しており、常に職員の目が利用者に行き届くようになっています。食堂はガラス張りであるく、また一角には畳の小上がりもあり寛ぎのコーナーとなっています。居室に繋がる幅の広い廊下にはテーブルとソファが置かれ、落ち着いて談笑できるリゾート感漂うスペースとなっています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お客様同士でお話をしていただけるようなスペースを複数設けています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お客様の個室については内装はお客様の自由であり生活歴や好みの環境にしていただける状態になっています。ただし危険性を感じる場合には相談させていただくこともあります	居室には利用者が好みの家具を持ち込んでいます。テレビや仏壇の置かれた部屋もあります。室内は清潔に保たれ、洗面の設備もあり、快適に過ごせるようになっています。和裁、洋裁の得意な利用者は趣味の道具を引き出しにきれいに整理し、居室で製作を楽しんでいます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様の考え・行動が中心です。その生活環境に影ながらの支えとなれる様支援させていただきたいと考えています。		

事業所名	スマイル住まいる三浦
ユニット名	やまゆり

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念の他、ホームの理念を掲げ実践していける様朝礼で唱和しています。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	体験学習の中学生地域のボランティアとの交流を定期的に行っています。また散歩の際には地域の方と挨拶が出来るような関係もあります。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は開催が少なくなりましたが取組みの状況報告や話し合いを持っています。またその結果をサービス向上にむけ努めています。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村からのアンケート等に協力、報告しています。また担当の方には入居時、入居後の生活について相談させて頂き指導いただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中玄関に施錠することは無く身体拘束のないケアにスタッフ一丸となり取り組んでいます。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	肉体的虐待は勿論、精神的虐待にも常に心がけ話し合いの場を設ける等徹底に努めています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修やスタッフ間の話し合いの場で学ぶ機会が出来るよう心がけています。また制度を活用されているご家族と協力体制をもち活用できるよう支援しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行いお客様がやご家族が安心してご入居していただける様説明させていただいています。相談にも随時対応させていただいています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様へは来所時や電話にて状況をお伝えすると共にご意見・ご要望を頂き運営に反映できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや様々な話し合いの場を設け意見を集め反映させています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は勤務状況を把握し全職員が勤務形態にかかわらず高い意識や向上心を持てるような環境作りに努めています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修情報を回覧し研修の機会を設けています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム協議会に所属しており活動の内容を通じてサービスの質の向上に努めています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	必要に応じて連絡・訪問をさせていただいています。お客様のご要望に対し、安心してご利用していただけるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族所不安や要望に耳を傾け、スタッフ間で介護計画について話し合いより良い関係作りに努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お客様本人・ご家族の意見を踏まえ初期段階でお客様に必要な支援を見極め、他サービスも含めた支援を検討していきます。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様本人の意見・行動を中心に良い関係を築きながら支援させていただきます。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お客様の日常の生活を記録を含め詳細に報告し、ご意見やご協力を頂きながら一丸となってお客様の生活を支えて行けるよう努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日常生活の中で想いで話しに耳を傾けたり、ご友人の電話や来所を進める等心がけています。また行ける範囲であればご希望される場所への外出も行っていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日の体操・レク・散歩等お客様全員が楽しむことが出来る場を作り利用者同士の交流も出来るよう努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も可能であればご本人・ご家族との関係を継続させていただき相談・支援をさせていただきたいと考えています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お客様の思いや希望を傾聴しその事柄が満たされることが出来るようお客様の気持ちになって検討していきます。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族から今までの生活歴や暮らし方、生活環境を伺い、把握しその後の支援に活かせるよう努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝バイタルチェックは欠かさず行っています。お客様の様子の変化に随時気づくことが出来るよう心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族は勿論のこと必要に応じ医療関係者、他関係者の意見を参考に話し合い介護計画を作成しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきを記録し気がついた点は情報を共有し速やかにケアや介護計画の見直しに活かすよう努めています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お客様ご本人やご家族様のニーズに柔軟に対応し、その方向にあわせた支援やサービスに取り組めるよう努めています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	三浦市の文化機関や施設を必要性に応じてお客様の意見を尊重させていただきながら協力・支援させていただいています。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	お客様の健康状態を前もって報告し適切な診療が受けられるようにしています。医療機関とも常時連絡の取り合うことの出来る関係を築いています。ご家族への相談・報告も適時行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>往診時や日常の連絡からより良い関係を築いており常時連絡・相談が行えています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には早期退院ができる様、介護サマリ等を中心に情報提供を行っています。またその後の経過においても病院関係者と綿密な話し合いを持てるようにしています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合には今後の医療や生活の意向を相談させていただいています。その中で最善の方法考えられる方向へ関係者と共に向かえるよう取り組んでいます。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全職員が急変時に対応できる様話し合いの場を設ける等しています。初期対応等含めお客様の心身状態を把握し常に起こりうる事柄を考え備えています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難・防災訓練を実施しています。また災害時の対応について話し合いの場を設け全職員が適切な行動できるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様の人格を尊重し、敬う気持ち大切にされた言葉使いを会社の誓いとして掲げ取り組んでいます。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の行動を職員が決めてしまう事の無い様、傾聴し自己決定を中心とした生活が送れるよう支援していきます。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	必ずしもご希望に添えない場合もありますが基本的にご希望に添える体制作りに努め支援させていただいています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の希望・意向を大切にしていますが判断が難しい場合にはお客様のご意見を踏まえながら支援させていただいています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食希望に添うことは難しいですが、ご意見を頂いたり一緒に食材の買出しへ言っていただきメニューを決定する等食という大きな楽しみの時間を大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分摂取量について失礼のない範囲で管理させていただいています。お客様の体調・必要量を的確に判断できるよう努め体調管理努めています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ご本人の能力・口腔状態に合わせた支援をさせていただいています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつの使用についてはお客様のブライド等にも気を配りながら慎重に行っています。ですがトイレでの排泄支援が難しいと判断させていただいた場合には使用している状況もあります。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に対し薬だけに頼ることの無い様、体操や日常の食事に気をつけています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	お客様の希望に添えるタイミングでの入浴実施に努めていますが体調や入浴間隔に他お客様入浴状況によってはお客様の負担にならない範囲で調整させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様一人ひとりの状況を把握し適切な休息をお客様の意見を尊重させていただきながら支援させていただいています。		
47		服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についてスタッフ全員が処方内容に目を通し把握し常にスタッフ間で話し合い医療機関への相談を行っています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	過去の生活歴やおきゃ様のお話から嗜好品、楽しみを見つけ日常生活を楽しんでいただけるよう支援させていただいています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	希望に添えるよう散歩・買い物等に出かけることができる環境整備を心がけているがお話させていただいた上で調製していただいていることもあります。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人・ご家族了解の上でお金を所持していただいています。管理が難しいお客様についてはお預かりさせていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の使用や手紙のやり取りは自由であり、交流についても支援を行っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お客様が落ち着いて過ごしていただける環境作りを心がけています。又季節行事に伴った展示物・掲示物を取り入れ楽しんでいただけるよう配慮しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お客様同士でお話をしていただけるようなスペースを複数設けています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お客様の個室については内装はお客様の自由であり生活歴や好みの環境にしている状態になっています。ただし危険性を感じる場合には相談させていただくこともあります		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様の考え・行動が中心です。その生活環境に影ながらの支えとなれる様支援させていただきたいと考えています。		

目標達成計画

作成日：平成22年7月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組みについて、仕組みが出来つつあるが、周知できていない。スタッフの意識が低い。	職員一人一人がスキルアップできるような仕組みを確立する。高い意識・目標が持てるように導く。	まずは定期的な勉強会の時間をつくる。一人一人目標を定め、達成の為に内外の研修に参加させる。	6ヶ月
2	34	急変や事故発生時の実践力がまだ身につけていないスタッフが多い。	あらゆる場面において冷静で適切な対応ができるようにする。	社内外でリスクマネジメントの研修への積極的な参加。社内のRM情報の共有化をより進める。定期的な訓練等の実施。	3ヶ月
3	4	運営推進会議の定期的な開催ができていない	定められた年6回(概ね2ヶ月に1回)の開催。	あらかじめ年間計画をたてた上での参加の呼びかけを実施。参加しやすいような中身のある内容にしていく。	2ヶ月
4	3	事業所(または会社)が持っている力を地域に還元できていない。	事業所が(会社)が有している福祉に関する知識や情報を発信していくことで、地域の高齢者ケアに貢献する。	まずは日々より地域との交流をより深め、情報を発信できる仕組みを確立していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。